

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

4年生が飯能市市民会館で行われた西部南地区の音楽会に参加しました。事前に、日高市立高麗川小学校の吉原敦子教頭先生からもご指導をいただき、その成果を発揮して堂々と合唱を披露することができました。

梅園小学校

11月5日、保護者のみなさんや地域の方に見守られ音楽会が始まりました。どの学年も練習の成果を発揮し、すばらしい合唱、合奏を披露してくれました。決して人数は多くありませんが、一人ひとりの心を込めた演奏は聴いている人たちの心に響きました。



越生中学校

10月29日、合唱コンクールが行われました。今年のスローガンは「迫れ！合唱の奥義へ～広がる己の可能性 我ら一つの合唱人～」。各クラスとも素晴らしい歌声を体育館いっぱい響かせ、参観者からは惜しみない拍手が送られました。



おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。

ズームイン教育236

埼玉一の学力 を目指して

越生町教育委員会

今年度の国と県の学力調査結果が発表されました。調査の内容と越生町の子どもの傾向をお知らせします。

1. 全国・学力学習状況調査
対象 小学6年、中学3年
教科 国語A、国語B、算数・
数学A、算数・数学B
※Aは知識、Bは活用に関する問題
わかったこと
○多くの項目で全国平均を大きく上回る。
○特に知識に関する問題の結果が良い。
○自分の考えを明確にしながら文章を読んだり、説明したりする力に課題がある。
○グラフや表などの資料を活用して考える力に課題がある。

- 教科 国語、算数・数学、英語
※英語は中学2、3年が実施
わかったこと
○多くの学年が県平均を上回る。
○県平均よりも伸び幅が大きい学年が多い。
○小中学生とも書く力に課題がある。

3. これからの目標
これらの傾向を踏まえ、越生町教育委員会では、学校と連携して、次のように取り組んでいきます。
◆話し合いや発表の場面を多く取り入れる
話の展開を考え、また事例や図表を活用して自分の言葉で話せるようにします。
◆文を書くコツをつかませる
語句や表現の仕方を身につけ、読み手のことを考えて文を書けるようにします。
◆本に親しんでもらう
書き手の意図を理解し、自分の考えをまとめられるようにします。
家庭生活でも、本や新聞、日記などを通して文字に親しんだり、世の中のニュースを話題にして家族で話し合ったりすることも有効です。
埼玉一の学力を目指し、子どもたちがさらに成長していくようご協力をお願いします。

越生浪漫

No.95

石井隆徳の筆塚

五大尊花木公園には、鈴木金兵衛の札所巡拝碑以外にも、さまざまな碑が立っています。今回ご紹介する石井隆徳の碑は、五大尊堂に向かう階段を登った中段の広場に、馬頭尊などの碑と並んで立っています。この中段にある石碑群には、子の権現への道標が刻まれた碑があり、別の辻に建てられていたものが、五大尊堂境内に移設されたと考えられます。

表の菅原道真の和歌は、小倉百人一首の撰歌二十四で、「今度の旅は急だったので、道祖神にお供えする幣を準備する暇ありませんでした。手向山の美しい紅葉を、幣としてお心のままにお受けください」という内容です。藤原時平により太宰府に左遷させられる前の、宇多上皇の宮滝御幸の時に詠まれています。

また、書を揮毫した紫梅とは、西戸村（現・毛呂山町）の修験本山派山本坊二十五世の相馬太郎徳榮（生年不詳〜1878）です。同じく毛呂山の俳人として知られる川村碩布に師事し、曰二の俳号があります。町内では小杉にある鷹島梅山の碑も、紫梅書によりま



五大尊堂に向かう中段の石碑群



石井隆徳の筆塚

（碑文表） 菅原朝臣
此度はぬさもとりあへず
たむけ山もみぢのにしき
神のまにく
七十一翁紫梅書
石井隆徳建之

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.56

ミツバチの越冬と梅のハチミツが市販されない理由

「ハチ目 ミツバチ科」

昆虫の冬の過ごし方には、いくつかのパターンがあります。①卵や蛹のような静止状態で冬を越すもの、②成虫や幼虫が完全に活動を止めて冬眠するもの、③寒い時は動かさず気温が高い時だけ活動するものです◆ミツバチは3のパターンで冬でも活動しています。これは、冬越しの食糧（蜜と花粉）を巣に蓄えているからできることで、気温が低い日でも体を震わせて自分たちで熱をつくっています◆しかし、ミツバチの越冬も完全ではありません。巣に蓄えられた蜜は微生物が繁殖できないくらい濃い（水分が少ない）ので、水で薄めないと食料になりません。そのため冬でも水を採りに巣から出ますが、氷点下の真冬日が1週間も続

くと水を確保することができず、大量の蜜を抱えたまま水不足で全滅（餓死）することもあります◆ミツバチも厳しい冬の間は産卵をやめ、子育てを休止します。産卵を再開するのは2月中旬で、春の花が咲き始めると、その蜜と花粉は全て食料として食べてしまします。当然、梅の花の蜜もハチが消費してしまうので巣には溜められません。桜が咲く頃には働きバチが増え、蜜が大量に余りはじめて巣に溜められます◆これが、市販のハチミツに桜はあるけれど梅がない理由です。北国では梅も桜も一斉開花しますが、働きバチが少ない時期なので、集めたミツは食べてしまいま



◀ 巣箱の中のミツバチ成虫

す。 （草間岳彦）